

Dysregulated B cell differentiation towards antibody-secreting cells in neuromyelitis optica spectrum disorder

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2020-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 星野, 泰延 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002421

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2175 号

The critical role of T peripheral helper cells and switched memory B cells in the pathogenesis of AQP4-Ab positive NMOSD

T peripheral helper 細胞と switched memory B 細胞の抗 AQP4 抗体陽性 NMOSD の病態における重要な働き

星野 泰延 (ほしの やすのぶ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、AQP4 抗体陽性 NMOSD における TPH 細胞また SMB 細胞の役割を明らかにし、さらには NMOSD において B 細胞が Naive B 細胞の時点から調整不全に陥っていることを初めて明らかにした臨床的に非常に意義ある論文である。また類縁疾患である抗 MOG 抗体関連疾患は AQP4 抗体陽性 NMOSD とは別の病態であることが示唆され、これらの細胞分画の割合の違いが診断の一助となる可能性がある。さらに RNA-seq 分析により、SMB 細胞だけでなく immature な Naive B 細胞でも NMOSD と HC の違いが明らかになった。これらの結果は、NMOSD だけでなく抗体関連自己免疫疾患においても病態のさらなる機序の解明を明らかにする可能性がある。また、これらが新しい治療標的薬の発見に寄与する可能性がある。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。